

第 10 回終末期緩和ケア作業療法研究会

「これからのがんリハビリテーションと作業療法」

医療法人社団秀博会

マサキクリニック

島崎 寛将



近年、がんのリハビリテーションが注目されるようになり、多くの医療機関でがんを患う対象者に広くリハビリテーションが提供されるようになった。しかし、10年前はがんのリハビリテーションという言葉すら全く知られてはいなかった。そのような中で、誰がここまでの発展を予想しただろうか。がん・緩和ケアにおける作業療法の全国的な取り組みは10年前に本研究会から始まった。この10年がん・緩和ケアにおける作業療法は目まぐるしい発展を遂げ、今や世界をリードするところまで来ているといっても過言ではないだろう。

では、ここから10年先がん・緩和ケアのリハビリテーション（作業療法）はどのような発展を遂げるのだろうか。がん医療の発展とともに変化するがんサバイバーシップに合わせて、これからのがんの作業療法と作業療法士のあり方について考えてみたい。

第10回年次研修会の開催に当たり10年間という長きに渡り、研究会の運営にご尽力下さった目良幸子会長、野尻明子副会長をはじめ、理事・監事の先生方に深く感謝と敬意を表し記念大会で貴重な機会を頂いたことに心より感謝を申し上げる。